

Mizuho Daily Market Report

2024/1/26

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.65	147.66	+0.15	▲0.50
EUR	1.0888	1.0846	▲0.0039	▲0.0030
AUD	0.6584	0.6585	+0.0008	+0.0012
SGD	1.3392	1.3402	+0.0005	▲0.0039
CNY	7.1636	7.1739	+0.0159	▲0.0224
MYR	4.7313	4.7315	+0.0000	+0.0125
THB	35.72	35.73	+0.05	+0.13
IDR	15830	15825	+115	+205
PHP	56.54	56.55	+0.23	+0.71
INR	83.11	83.12	▲0.02	▲0.00
VND	24605	24611	+29	+78

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.118%	▲5.8 bp	▲2.4 bp
日本(10年)	0.746%	+2.9 bp	+9.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.290%	▲5.2 bp	▲5.9 bp
オーストラリア(5年)	3.851%	+0.2 bp	▲4.0 bp
シンガポール(5年)	2.908%	+5.2 bp	+12.3 bp
中国(5年)	2.353%	▲2.5 bp	▲4.9 bp
マレーシア(5年)	3.561%	+0.0 bp	▲3.6 bp
タイ(5年)	2.437%	+2.0 bp	▲0.9 bp
インドネシア(5年)	6.569%	+7.5 bp	+6.7 bp
フィリピン(5年)	6.002%	▲0.3 bp	+10.5 bp
インド(5年)	7.086%	▲1.3 bp	▲0.7 bp
ベトナム(5年)	1.380%	▲12.0 bp	▲2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,049.13	+0.6%	+1.5%
N225(日本)	36,236.47	+0.0%	+2.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,582.26	+0.4%	+2.9%
ASX(オーストラリア)	4,122.73	+0.1%	+1.0%
FTSE1(シンガポール)	3,147.64	▲0.2%	+0.3%
SSEC(中国)	2,906.11	+3.0%	+2.1%
SENSEX(インド)	70,700.67	▲0.5%	▲0.7%
JKSE(インドネシア)	7,178.04	▲0.7%	▲1.0%
KLSE(マレーシア)	1,504.10	+0.0%	+1.7%
PSE(フィリピン)	6,673.50	▲0.1%	+2.5%
SETI(タイ)	1,376.09	▲0.4%	▲0.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,170.37	▲0.2%	+0.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	272.40	+0.5%	+2.6%
金	2,020.84	+0.3%	▲0.1%
原油(WTI)	77.36	+3.0%	+4.4%
銅	8,477.50	+0.1%	+3.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.50	—	148.50
EUR/USD	1.0780	—	1.0900
AUD/USD	0.6520	—	0.6620
USD/SGD	1.3350	—	1.3440
USD/CNY	7.1100	—	7.1900
USD/INR	4.7200	—	4.7500
USD/THB	35.60	—	36.00
USD/IDR	15750	—	15850
USD/PHP	56.20	—	56.60
USD/INR	83.00	—	83.20
USD/VND	24,100	—	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台半ばでオープン。東京仲値近辺では5・10日に伴う実需の売り買いが交錯する展開。もともと、海外時間に予定されている米経済指標やECB理事会の結果を控えて様子見姿勢も強く、動意を欠く推移となった。結局、147円台後半で海外時間へ渡った。アジア通貨は全般的に動きづらな展開となったが、インドネシアについては大統領選挙を控えた警戒感から約3か月ぶりの安値水準まで下落した。

海外市場のドル円は147円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された注目の米第4四半期GDP(速報値)や、個人消費のヘッドラインが予想を上回り、発表直後はドル買い優勢の展開に。しかし、その後は前述の米GDPの結果が前回より低下している事や、同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に悪化した結果が嫌気され、米金利低下に追随し、147円台前半まで反落。しかし、欧州株が反発する展開や、米長期金利が戻す動きを受け、再び147円台後半に戻してクロスした。

【金利】

金利市場は中期を中心に低下し、イールドカーブはブルスティフ化。NY朝方には多数の指標が発表となり、第4四半期GDPは予想比強めの数字となったものの、新規失業保険申請件数は増加し、発表後は金利低下で反応。また午後に発表された7年債入札結果が好調となったことから債券買いが強まり、午後の取引で金利低下が持続した。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。昨日公表された米4Q・GDPの結果が市場予想を上回る伸びを見せたことでドル買いが強まりやすいことに加え、本日朝方に発表された東京都CPIの結果が1年8か月ぶりに2%を割り込む結果となったことが円安要因となり得ると考えておりドル円は上昇基調での推移となりそうだ。

【本日の予定】

(日本) 12月 企業向けサービス価格指数
(日本) 12月 日銀 議事要旨
(アジア) 12月 シンガポール 鉱工業生産
(アジア) 12月 タイ 製造業生産指数 / 設備稼働率指数ISIC
(アジア) 12月 フィリピン 貿易収支
(アジア) 4Q シンガポール URA民間住宅価格(確)
(アジア) 休場 豪、インド
(欧州) 1月 仏 消費者信頼感
(欧州) 1月 英 GfK消費者信頼感
(欧州) 2月 独 GfK消費者信頼感
(米国) 12月 中古住宅販売仮契約
(米国) 12月 個消費価格デフレーター / PCEコアデフレーター
(米国) 12月 実質個人支出 / 個人所得 / 個人支出
(米国) 1月 カンザシティ連銀サービス活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。